

## E 0 1 雨竜川総合開発記念碑



所在地 鷹泊自然公園  
建立年月日 昭和44年5月11日  
建立者 関係土地改良区  
管理者 多度志土地改良区  
建立の由来等

明治の中期先人は雨竜川を基幹として千古の密林を拓き水田地域開発の緒を開いた。爾来時代の変転に従い流域一帯の森林過伐は極度にかんがい用水の不足を招き且大平洋戦争終結により食糧難は深刻化した。昭和22年流域9ヶ町村は雨竜川水利開発期成会を結成し既成水田五千町歩の補水と千七百町歩の新規開田を企画しその対策に全力を挙げた。全25年北海道総合開発事業の先駆としてこの地を選び多目的ダムの建設に着手し全28年めでたく完工した。引続き拾有余年国営、道営かんがい排水事業等の実施により地域の農業頓に躍進、聖営彌々安定しつつある。茲に地域住民共に雨竜川総合開発の偉業を讃え永くこれを後世に伝える。

## E 0 2 協栄橋架橋記念碑



所在地 鷹泊(ヌップ)  
建立年月日 昭和48年11月  
建立者 地区住民一同  
管理者 —  
建立の由来等

明治中期この地に開拓の鉞が下されて以来險難な山道と野獣の危険に曝されながら往来した先人は、ここに橋の必要を叫び、その運動は今日に及んだ。

たまたま道営圃場整備事業の推進に当たり北海道議会議員大平秀雄氏、深川市長真鍋政之氏、多度志町土地改良区理事長平林喜一氏らの奔走により、遂に、架橋の実現を見るに至る。

これにより生活、文化、経済の向上は言うを待たず住民の歓喜はこの上ない。

ここに、協栄橋と名づけ、永く住民団結の表標とすると共に、開拓先人の功勞に酬いんとするものである。

## E 0 3 二宮尊徳像



所在地 リフレッシュプラザ鷹泊  
 建立年月日 昭和37年10月  
 建立者 柴田正雄氏他2名寄贈  
 管理者 教育委員会

建立の由来等

鷹泊小学校開校60周年を記念して同窓生医学博士柴田正雄氏らより寄贈されたもの。

## E 0 4 閉校記念碑



所在地 幌成コミュニティセンター  
 建立年月日 平成9年2月23日  
 建立者 幌成小学校閉校記念協賛会  
 管理者 —

建立の由来等

創立88年の栄光を讃え閉校記念碑を建て後生に永く伝える。





## E 0 5 閉校記念碑



所在地 宇摩会館  
 建立年月日 平成12年11月  
 建立者 宇摩小学校同窓生一同  
 管理者 ー  
 建立の由来等

ここに68年の歴史を持つ宇摩小学校の閉校を記念し、碑を建立する。



## E 0 6 開田記念碑



所在地 宇摩会館  
 建立年月日 昭和39年9月5日  
 建立者 多度志土地改良区支線上宇摩組合  
 管理者 ー  
 建立の由来等

明治33年鈴木辨治が石橋農場の白山官治より種籾を譲受け、山口健治所有の低湿地に水稻試作に成功したのが、当部落米作りの始まりである。(中略)

茲に開田50周年を記念し旦部落の美風を永く子孫に相続させるためにこの記念碑を建立するものである。

## E 0 7 開拓記念碑



所在地 宇摩神社境内  
 建立年月日 昭和9年4月  
 建立者 ー  
 管理者 ー  
 建立の由来等

明治28年愛媛県宇摩郡ノ住民42戸団  
 長真鍋家董副団長潮見仙五郎等引率渡道  
 滝川村ニ仮寓シ同30年6月此地ニ起居  
 開拓ニ従フ 同33年各自労力金品ヲ以  
 テ草屋ヲ作り子弟教育ヲ始ムコレ宇摩小  
 学校ノ前身ナリ同年9月郷里八幡宮ノ御  
 分霊ヲ迎テ神殿ヲ建立ス 大正3年135  
 町歩ノ造田ヲ企テ蒸気揚水機ヲ設置シ昭  
 和9年電力揚水機ニ改造セリ 茲に開拓  
 ノ根柢ヲ録シテ後世ニ伝フ

## E 0 8 故真鍋家董碑



所在地 宇摩神社境内  
 建立年月日 昭和26年9月6日  
 建立者 部落一同  
 管理者 ー  
 建立の由来等

愛媛県宇摩郡関川村真鍋義三郎長男神  
 職中講義愛媛県ヨリ同郡野田村八幡神  
 社々掌常命讚州金刀比羅神社月並祭山勤  
 明治26年42団体組織団長トシテ入植、  
 入植後30年度第2団体引率依媛丸乗船  
 病魔ニ襲道房州館山上陸東都帰途46歳  
 没



## E 0 9 剛雄日新 不撓不屈



所在地 旧多度志中学校  
建立年月日 平成4年8月30日  
建立者 記念事業協賛会  
管理者 教育委員会  
建立の由来等  
開校45周年・統合20周年を賛えて之を建てる。

## E 1 0 開拓記念碑



所在地 湯内神社境内  
建立年月日 大正14年9月18日  
建立者 —  
管理者 —  
建立の由来等  
不明

## E 1 1 湯内教育発祥の地



所在地 中央公民館湯内分館  
建立年月日 昭和54年6月  
建立者 湯内教育振興会・湯内同窓会  
管理者 教育委員会  
建立の由来等

旧湯内小学校・中学校跡地に地域住民が教育発祥の地を記す記念碑を建立。

## E 1 2 若林部落開拓記念碑



所在地 多度志町若林  
建立年月日 大正13年9月  
建立者 発起者 若林青年会員八熊多市他30名

管理者 一  
建立の由来等

多度志の東南若林部落あり面積5百町歩山を負ひ谿に臨み別に一区をなす此地若林乙吉君の経営する処故をもって地名となす君佐渡羽茂本郷の八源蔵の次子也明治29年深川町に移住し商を業となす資性谿達にして大度あり任侠に接す郷党以て範となす38年地を多度志に相し愛撫勉勸頗る努む33年土地の附与を受け大正7年農場の大部分を割き部落民に分譲し別に三線の一劃及事務所壺棟を青年会の基本財産に提供し教育指導の資となす若林青年会の殷をなす君の興って大なり宣なるかな部落民の君を敬慕して止まざることや茲に相謀り碑を建て君の徳を頌し永く後に伝ふと爾去。



## E 1 3 開拓記念碑



所在地 多度志診療所  
建立年月日 大正14年9月  
建立者 建設発起人 南藤吉他12名  
管理者 多度志町地域振興対策協議会

### 建立の由来等

多度志村開村30年を記念して農場主石橋末吉の雄図を刻んでいる。

平成11年に旧多度志小学校敷地から現在地に移設。

## E 1 4 忠霊塔



所在地 多度志神社境内  
建立年月日 昭和31年8月  
建立者 忠霊塔奉賛会  
管理者 忠霊塔奉賛会  
建立の由来等 (沿革抜粋)

如上五十年の星霜を閲し合祀忠霊實に百余柱年々歳々奉賛の誠を捧げしも偶々昭和二十八年以来忠霊塔建設の議怒るや村民総意の赴くところ本日茲に實現の運びに至り旧碑石はその歴史的尊嚴性に鑑み八月三日本塔中心位置に礎石として埋鎮す。

題字は、三上光雲氏書

## E 1 5 南無阿弥陀仏



所在地 多度志神社境内

建立年月日 大正 12 年 8 月 10 日

建立者 運搬業一同

管理者 ー

建立の由来等

大正 6 年 8 月 10 日没 堀田太市

大正 12 年 8 月 10 日運搬業一同建立

平成 28 年頃現在地に移設。

## E 1 6 銅像水谷隆毅翁之像



所在地 旧多度志支所

建立年月日 昭和 55 年 9 月 15 日

建立者 多度志町水谷隆毅翁顕彰期成会

管理者 多度志支所

建立の由来等

水谷隆毅翁は明治 28 年三重県長島領庄屋総代を祖父として生を享け明治 37 年父九七二氏と共に渡道、大正 8 年多度志町に転居、木材業、鋳業、漁業を兼業し家運は隆昌した。

翁は公共心篤く幾多の公職を歴任し特に昭和 22 年本町の初代民選首長に当選以来昭和 45 年深川市との合併実現まで実に 23 年に亘り町勢の振興に尽した功績は誠に偉大なるものがある。

ここに拳町一致翁の偉業に感謝しその至徳を讃え胸像を建立し永く後世に伝える。

期成会から昭和 55 年 9 月 1 日深川市へ受納。



## E 1 7 圃場整備記念



所在地 旧多度志支所  
 建立年月日 昭和50年9月11日  
 建立者 多度志土地改良区  
 管理者 多度志土地改良区  
 建立の由来等

当改良区は昭和22年以来、他に先駆けてダム及びかんがい排水事業など土地改良事業を積極的に実施し、引続き昭和42年から農業経営近代化の早期実現をめざし、多度志町、農業協同組合、土地改良区の3者が1体となり、圃場整備事業促進協議会を結成し、道営圃場整備事業の推進につとめた。以来8ケ年、関係諸官庁の尽力により事業の完遂を見るに至った、これを記念し、碑を建て永く後に伝える。

## E 1 8 故笠原元次郎の碑



所在地 旧多度志支所  
 建立年月日 昭和10年5月  
 建立者 多度志村有志一同  
 管理者 多度志支所  
 建立の由来等

笠原元次郎翁ハ市次郎氏ノ長子ニシテ慶應二年五月六日滋賀縣坂田郡長濱町ニ生ル家ハ代々刀鍛冶ヲ業トセリ

翁資性剛毅英邁果斷ニ富ム弱年ニシテ父母ヲ亡ヒ幼少ヨリ忍苦辛勞十有二年明治二十七年盟友西田天香氏ト共ニ栗澤村字清真布必成社農場ニ移住シ幹部員トシテ二十有余年刻苦精勵墾闢に努メ以テ社運ノ隆昌ニ奇興スル所アリタリ

抑モ宮本農場ハ遠ク明治二十九年兵庫縣人石橋来吉氏ノ創業ニ濫觴ス其後安達吉弥氏之ヲ繼承シ大正四年五月必成者ノ分身タル株式會社近江農場ト成ルニ方リ翁ハ之カ管理人トナル更ニ大正十三年二月株式會社宮本農場ニ移讓スルニ及ヒ翁ハ重テ管理ニ任シ前後二十有余年一意專念農場ノ發展ヲ策シ終生餘カヲ社會公共ノ事ニ傾注シ昭和六年七月廿五日病ノ為メ長逝ス干時六十六歳ナリ茲ニ有志胥謀リ碑ヲ建テ以テ厥ノ徳ヲ不朽ニ傳フ

## E 1 9 開基記念



所在地 旧多度志支所  
建立年月日 昭和40年9月  
建立者 多度志町  
管理者 総務課  
建立の由来等

明治29年兵庫県の人、故石橋末吉氏千古の密林を拓き本町開基の緒を開いた。爾来時代の変遷と共に開発日に進み昭和37年町制の施行に伴い町勢頓に躍進挙町その拓志を嗣きつつある。茲に開基70年を迎え烈々の開拓精神と偉業を讃え永くこれを見孫に伝える。

## E 2 0 宮本農場開放記念



所在地 旧多度志支所  
建立年月日 昭和13年6月15日  
建立者 伊藤重太郎氏外5名  
管理者 ー  
建立の由来等

宮本農場は大正8年帯広市宮本富次郎が栗沢村の株式会社必成社近江農場より購入笠原元次郎を管理人として経営にあたっていたが昭和2年の大凶作以来農家の経済状況が著しく悪化農民は疲弊困憊するに至り農場の自作農創設を懇請。昭和10年農場主の理解により小作人は僅少の負担を以って全地開放を得ることができた。解放時の耕地面積は田182町畑116町計298町小作戸数98戸であった。この開放を記念した小作人伊藤重太郎、山田甚一、鐘山幸一郎、小田長吉、青野貞一及び鈴木重太郎が発起人となり道道納内多度志停車場線と市道若林一已線の交差点に宮本農場解放記念碑が建立された。その後昭和42年に道道拡幅工事のため旧多度志町役場敷地に移設され現在に至っている。



## E 2 1 故南藤吉之碑



所在地	多度志町多度志
建立年月日	—
建立者	—
管理者	—
建立の由来等	不明